

3 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価

全体評価

全体として、中期目標の達成状況は概ね良好であると認められるが、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」については、なお一層の努力が必要、「自立した経営」については、引き続き努力が必要である。

大項目4項目のうち、2項目（「Ⅰ 患者にとって最適な医療の提供」「Ⅱ 県民の健康維持への貢献」）について、中期目標の達成状況が「良好である」と評価した。

「Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」については、職員満足度が低い状態で、課題の把握・検証を行い改善を図る必要があることから、「やや不十分である」と評価した。

「Ⅳ 自立した経営」については、平成29年度は経常収支が黒字化するなど経営改善が見られ、奈良県立病院機構改革プランを上回る状況となっている。第2期中期目標・中期計画に基づき、引き続き各取組を進める必要があること、また、職員の中期目標・中期計画の理解度が低い状態で、改善を図る必要があることから、「概ね良好である」と評価した。

○上記の全体評価は、以下のとおり大項目ごとの具体的項目について定めている数値目標等に対する第1期中期目標期間の実績（見込）等を踏まえて行った。

I 患者にとって最適な医療の提供

患者満足度調査「病院に満足しているか」では、入院・外来とも上昇が見られた。救急搬送受入率については、救急患者の受入体制の整備により、総合、西和とも平成26年度に比べ上昇し、総合では平成30年度は94.4%で県内最高となった。また、新生児の救急搬送受入率についてもほぼ100%の水準を維持し、小児患者の救急搬送受入率も平成26年度に比べ大幅に上昇した。

リハビリテーションの実施では、リハを中心に人材確保に努めるなど体制強化を図り、在宅復帰率は高い水準を維持した。

患者満足度調査「安心して医療を受けられたか」では、入院・外来ともに上昇傾向で、高い満足度を維持した。

一方で、職員の中期目標・中期計画の理解度は平成30年度60%と、平成26年度と変わらない水準となっている。

新病院整備の推進については、新西和医療センターの整備は、第2期中期目標・中期計画期間で本格検討することとなったものの、新総合医療センターは平成30年5月に開院、看護専門学校統合校は平成29年4月に開校し、目標を達成した。

以上のことを踏まえ、中項目10項目中2項目は「中期計画を上回って実施している」、7項目は「中期計画を十分に実施している」と評価し、1項目は「中期計画を十分には実施していない」と評価。したがって、大項目「Ⅰ 患者にとって最適な医療提供」については「中期目標の達成状況が良好である」と評価した。

II 県民の健康維持への貢献

紹介率は、総合、西和とも年々上昇傾向であった。逆紹介率は、総合、西和とも平成26年度に比べ上昇し、100%に近い高い水準となっている。

県内の医療レベル向上に向けた支援では、教育研修センターで県内医療専門職向けの

講演会を実施する等、目標をほぼ達成した。

災害医療体制の強化では、災害訓練を実施し、DMAT 隊員設置人数の目標を達成した。

県民の医療・健康情報の提供では、県民向け公開講座を毎年度目標回数以上開催するとともに、ホームページや広報紙を通じて積極的な情報発信を実施した。

一方で、新西和医療センターの整備は、第2期中期目標・中期計画期間で本格検討することとなった。

以上のことを踏まえ、中項目5項目中4項目は「中期計画を十分に実施している」と評価し、1項目は「中期計画を十分には実施していない」と評価。したがって、大項目「Ⅱ 県民の健康維持への貢献」については「中期目標の達成状況が良好である」と評価した。

Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

患者満足度調査「患者さんの気持ちを理解しようとしたか」では、入院は満足度90%超と高い水準を維持し、外来も上昇傾向で平成30年度は82%となった。一方、職員満足度調査「仕事にやりがいを感じているか」及び「ワークライフバランス 私生活は配慮されているか」では、60%前後で推移しており、平成29年度はいずれも50%を下回った。

後期研修医数及び専門医数、初期臨床研修医のマッチング率は目標を達成し、認定看護師数は目標には達しなかった。

以上のことを踏まえ、中項目2項目中1項目は「中期計画を十分に実施している」と評価し、1項目は「中期計画を十分には実施していない」と評価。したがって、大項目「Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」については「中期目標の達成状況がやや不十分である」と評価した。

Ⅳ 自立した経営

法人の経営に関しては、病床稼働率の向上や総合における稼働病床の増加などにより、産業収益を増加させるとともに、医薬品・診療材料等のコスト削減などにより費用の抑制の取組を行い、経常収支比率は年々改善してきている。

しかしながら、法人の財務状況は、新総合医療センターの減価償却費の増加や、旧総合医療センター除却にかかる減損損失の発生等により、法人設立後5期連続で赤字決算という状況となっている。これにより平成30年度は123.9億円の繰越欠損金、107.5億円の債務超過が発生している状況であり、同年度末時点で20億円の短期借入を行うことで資金需要に対応している厳しい状況にある。今後も、総合医療センターの移転整備に伴い減価償却費や委託料、光熱水費等費用の増加要素があり、厳しい財政運営が見込まれるため、改革プランや第2期中期目標・中期計画に沿った経営改善を着実に実行することが強く求められる。

一方で、職員の中期目標・中期計画の理解度は60%（平成30年度）にとどまっており、各般の取組の着実な実行のためには、更なるガバナンスの強化と職員の意識改革が必要である。

以上のことを踏まえ、中項目4項目中1項目は「中期計画を上回って実施している」、1項目は「中期計画を十分に実施している」と評価し、2項目は「中期計画を十分には実施していない」と評価。したがって、大項目「Ⅳ 自立した経営」については「中期目標の達成状況が概ね良好である」と評価した。

項目別評価

大項目	期間見込評定										
I 患者にとって最適な医療の提供	IV 中期目標の達成状況が良好である (中項目10項目中、2項目をS評価、7項目をA評価、1項目をB評価としたことを勘案した。)										
	【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>IV</td> <td>IV</td> <td>IV</td> <td>IV</td> <td>IV</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	IV	IV	IV	IV	IV
H26	H27	H28	H29	H30							
IV	IV	IV	IV	IV							

中項目	取組項目	期間評定										
1 全職員が一体となって中期目標を達成	(1) 中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	B	B	B	B	B	B
H26	H27	H28	H29	H30								
B	B	B	B	B								
2 患者が満足する医療サービスの提供	(1) ホスピタリティマインドの向上を図る (2) 患者に対する適切な医療情報の提供 (3) 患者が治療に専念できる環境の充実 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
3 断らない救急の実現	(1) 受入体制の構築 (2) 人材の確保、養成 (3) 院内後方支援・連携体制の整備 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>S</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	S	S
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	S								
4 質の高いがん医療	(1) 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供 (2) 早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応 (3) 地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮 (4) 人材の確保、養成 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>S</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	S	<u>S</u>
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	S								

中項目	取組項目	期間評定										
5 周産期医療体制の強化	(1) 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化 (2) 西和医療センターにおける産科の再開 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	S	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
S	A	A	A	A								
6 小児医療体制の整備	(1) 小児救急機能の強化 (2) 人材の確保、育成 (3) 地域の他病院との連携の強化 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
7 リハビリテーション機能の充実	(1) 急性期については、総合医療センター・西和医療センターにおいて、回復期にかけては総合リハビリテーションセンターにおいて役割を担当 (2) 発達障害児に対する感覚統合療法の充実 (3) 障害児（者）に対する外科的治療の充実 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
8 高齢者を対象とした医療体制の整備	(1) 【運動器】法人内の病院における役割分担 (2) 【糖尿病】チーム医療の活動強化 (3) 【糖尿病】人材の確保、養成 (4) 【糖尿病】地域の医療機関へのサポート 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	B	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	B	A	A	A								
9 医療安全・院内感染の防止	(1) 法人における医療安全管理体制の確立 (2) 3病院合同の事例検討発表会の実施 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
10 新病院整備の推進	(1) 新総合医療センターの整備 (2) 新西和医療センターの整備等 (3) 看護専門学校統合校の整備 (4) 3病院共通の電子カルテシステム整備 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	B	B	B	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
B	B	B	A	A								

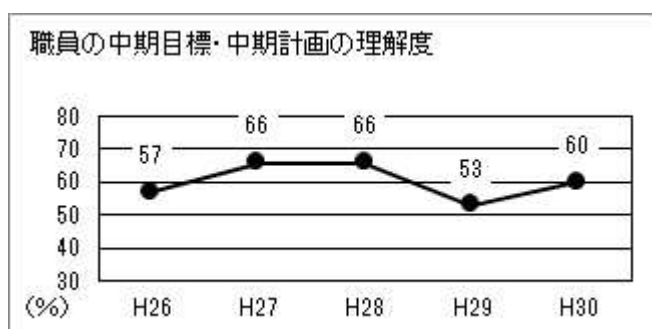
○中項目別の第1期中期目標期間の取組状況等は、以下のとおり。(下線は、見込評価からの追記、変更箇所)

1 全職員が一体となって中期目標を達成

【期間中の主な取組】

- ・理事会、経営企画会議を毎月開催し、理事会等での決定事項を全職員に周知する体制づくりに取り組んだ。
- ・3病院合同での部門別連絡会議を各部門が主体的に開催するとともに、部門間での情報共有を図る体制づくりに取り組んだ。
- ・各センターでの経営体制の強化として、センターごとに経営企画委員会を毎月開催。総合では、執行部会議を毎週、幹部会・部長会を毎月開催、西和では、院議を月2回、病院連絡会を毎月開催、リハでは、幹部会議を月2回、経営管理改善委員会を月1回開催し、それぞれ病院経営に係る重要事項の決定と情報共有・周知徹底に取り組んだ。
- ・新たに機構ニュースレター（グリーンリーフス）を発行し、職員の経営参画意識向上に取り組んだ。
- ・リハでは、全職員を対象とした運営や経営状況等の説明会を実施し、職員の経営参画意識向上に取り組んだ。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

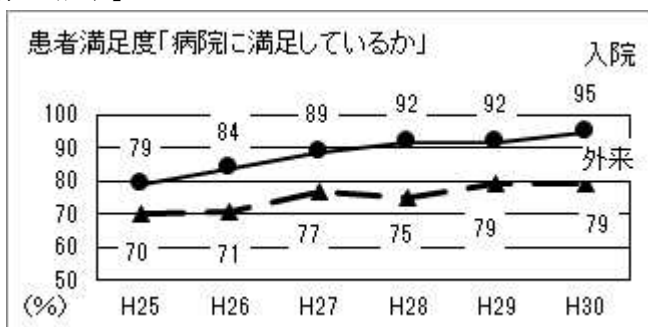
- ・第2期中期目標においても継続的な課題とし、中期目標の達成、特に経営改善の確実な実行に向けて、更なるガバナンス強化と全職員の意識改革が必要

2 患者が満足する医療サービスの提供

【期間中の主な取組】

- ・患者の相談や入退院支援等への対応の一環として、3センターでは、それぞれ患者支援センターを設置した。
- ・患者満足度調査、患者の声等による患者意見・要望を病院運営に反映させるため、その分析と情報共有を図り、意見・要望に対応する体制の整備に取り組んだ。
- ・教育研修センターにおいて、毎年度、ホスピタリティ研修等を実施した。
- ・3センターで、それぞれ広報誌の定期的な発行、ホームページの拡充・随時更新等を行い、県民への広報に積極的に取り組んだ。
- ・リハでは、病院機能評価の認証取得、外来おむつ交換・授乳室の設置、外来食堂の内装改修、患者用駐車場の増設を行った。
- ・病院運営に反映させるため、職員満足度調査の結果の分析に取り組んだ。
- ・西和では、駐車場の有料化に取り組み、慢性的な混雑を解消した。
- ・リハでは、受付窓口の業務調査等を実施し、患者サービス向上に取り組んだ。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

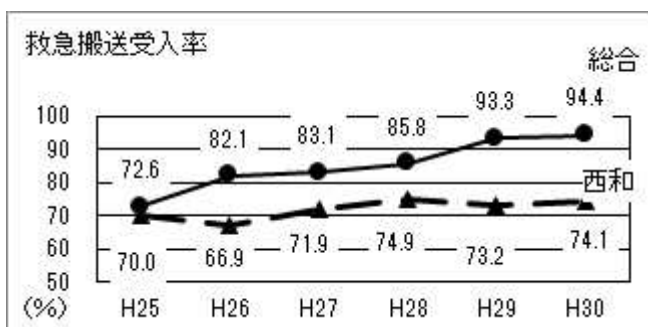
- ・患者が治療に専念できる環境の充実とともに、職員のホスピタリティマインドの更なる向上について、第2期中期目標期間においても、患者意見の把握、要因分析等の継続的な改善努力が必要。

3 断らない救急の実現

【期間中の主な取組】

- ・総合では、救急車受入件数の増加に対応するため、「断らない救命救急体制」の実現に向け、平成27年7月から24時間365日の奈良県北部における2次・3次救急の一元化（ER型救急医療体制）に取り組んでいる。ベッドコントロール看護師の専従配置等により、病床情報、課題をタイムリーに共有し、適切なベッドコントロールを実施した。また、奈良県ドクターヘリの運用開始（H29年3月～）に併せ、その受入体制を整備した。
- ・西和では、救急科を開設（H27年度～）するとともに、内科を中心とする救急ホットラインの設置・安定的運用等を行った。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

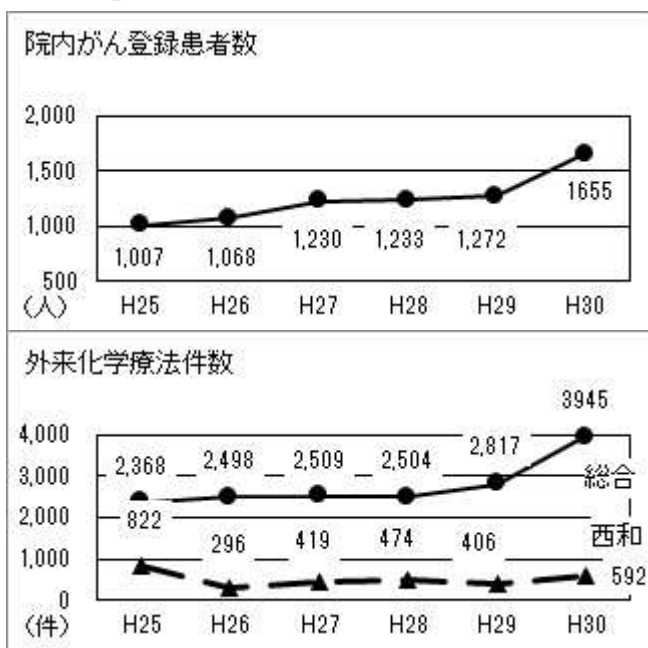
- ・救急搬送受入率の更なる向上のため、法人内の受入体制の整備に加え、地域の医療機関等との一層の連携が必要を、第2期中期目標期間においても、継続的に取り組むことが必要。

4 質の高いがん医療

【期間中の主な取組】

- ・総合では、血液・腫瘍内科を平成30年1月から、乳腺外科、頭頸部外科、口腔外科を同年5月から新設し、これまで対応できなかった分野のがんにも対応した診療体制を整備した。
- ・西和では、内視鏡室の運用を開始した（H28年5月～）
- ・総合では、新センター移転に伴い、集学的治療の提供体制の整備や治療機器の整備等による効率化に取り組んだ。
- ・西和では、低侵襲消化器がん治療センターの専任センター長配置により、体制を強化。患者のQOLの改善に向けた緩和ケアチームを設置。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

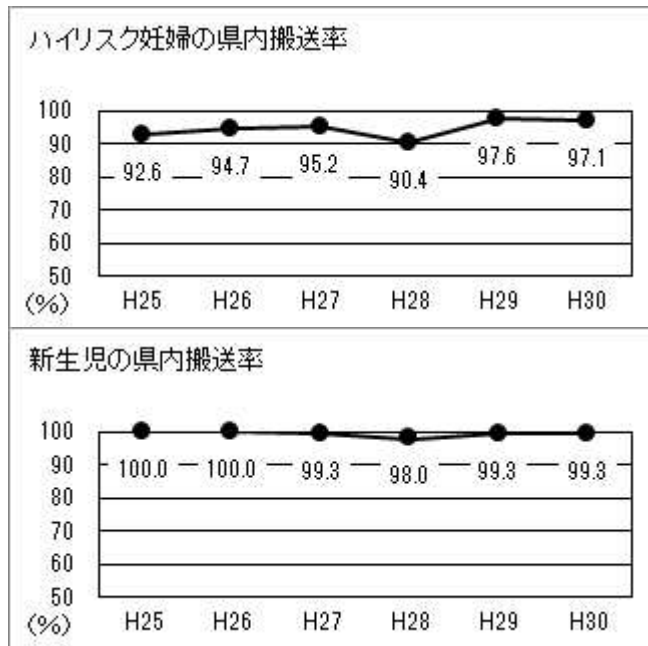
- ・質の高いがん医療を提供していくため、集学的がん治療の一層の充実、専門医・認定看護師等の人材確保・育成について、第2期中期目標期間においても、引き続き取り組むことが必要。
- ・総合では、北和地域の拠点として、さらなる高度専門医療の充実に取り組む必要。

5 周産期医療体制の強化

【期間中の主な取組】

- ・総合では、平成26年度から新生児搬送ドクターカーの運用を開始した。また、平成30年5月の新総合医療センターの移転開院に伴ってNICU（新生児集中治療室）やGCU（回復治療室）の増床とともに、MFICU（母子胎児集中治療室）の新設を行い、周産期医療の提供の充実を図った。
- ・西和では、平成27年4月から産科を再開し、以降、パンフレットの作成や産婦人科専用ホームページの開設を行うなど、積極的なPRを実施した。
- ・総合では、一ヶ月のうち平日の10日間は、医師2人の当直体制とするなど、受入体制の強化を図った。

【主な評価指標の結果】



評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
西和医療センターの産科再開	準備	平成27年4月再開			

【今後の課題】

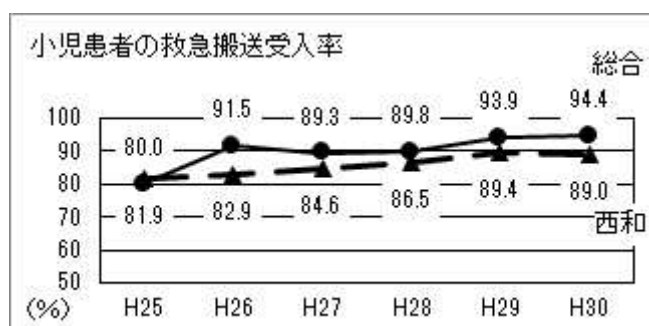
- ・安心してお産ができる周産期医療体制の一層の充実のため、人材の確保・育成について、第2期中期目標期間においても継続的に取り組む必要。
- ・総合では、NICU、GCU拡充に向けた体制整備と職員教育の強化を図る必要。
- ・西和では、休日、夜間の分娩について、オンコール体制で医師が対応しており、この点について、総合との連携体制を構築していく必要がある。

6 小児医療体制の整備

【期間中の主な取組】

- ・総合では、輪番回数の増加（H27年度～）、小児科専用救急ホットライン電話の設置（H29年度～）など、小児救急患者の受入体制を強化した。
- ・西和では、地域の診療所の診察時間に合わせた受入体制の整備及び土日を含む二次輪番日以外の救急対応の強化などを実施した。
- ・総合では、ER内に小児対応エリアの整備や院内学級の体制整備など、小児救急患者の受け入れ体制を強化した。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

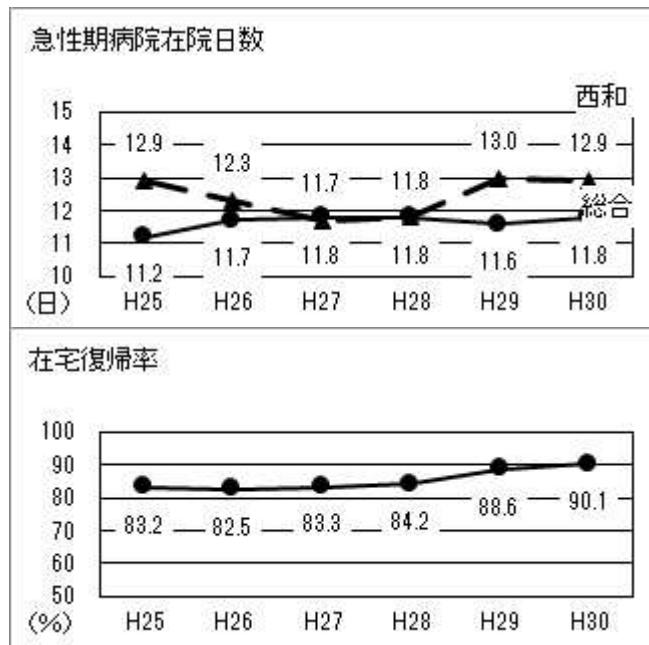
- ・小児救急患者を確実に受け入れできる小児救急機能の一層の充実のため、人材の確保・育成について、第2期中期目標期間においても継続的に取り組む必要。

7 リハビリテーション機能の充実

【期間中の主な取組】

- ・総合では、平成27年度から土曜日リハビリテーションを開始した。
- ・西和では、平成29年度から心臓リハビリテーション室を新設し、心臓血管リハビリテーション・廃用リハビリテーションを安定的に実施した。また、平成29年6月から土曜日リハビリテーションを開始した。
- ・リハでは、平成27年度から障害者（脊髄損傷患者等）対象のフットケア外来を開設した。
- ・リハでは、目標管理、実績管理方法の見直しや土曜日リハの導入を行い、リハビリ実施件数増に取り組んだ。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・多様なニーズに対応した高度・専門的リハビリテーションが提供できるよう、人材確保・育成に努めるとともに、法人内各センターの連携強化が必要。
- ・第2期中期目標期間において、リハは、奈良県の回復期医療の基幹病院としてその機能の充実、総合・西和は、急性期におけるリハビリテーション機能の充実が必要。

8 高齢者を対象とした医療体制の整備

【期間中の主な取組】

- ・各センターにおいて、ロコモティブシンドロームに関する公開講座等を実施し啓発に努めた。
- ・総合では、糖尿病の専門科（糖尿病・内分泌内科）を設置（H30.4.1～）し、患者教育を開始した。
- ・西和では、地域密着型住民公開講座を毎年度開催した。また、平成29年度より人工関節センターを新設し、整形外科の診療体制を強化した。
- ・リハでは、ロコモティブシンドローム出前講座の開催、障害者（脊髄損傷患者等）対象のフットケア外来を継続して実施した。

【主な評価指標の結果】

評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
ロコモティブシンドロームの認知度	調査方法の検討	41.7%	ロコモ関係の公開講座を実施	ロコモ関係の公開講座を実施	ロコモ関係の公開講座を実施

【今後の課題】

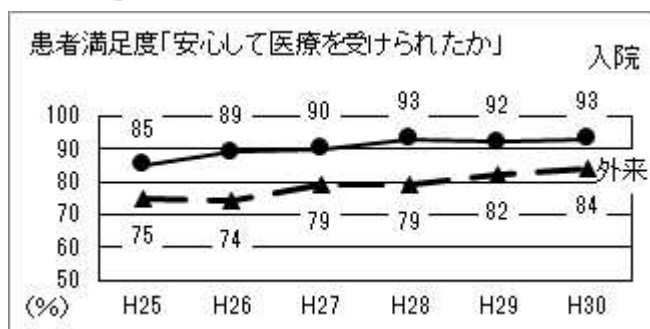
- ・良質な専門的糖尿病治療を提供するため、専門医などの人材確保・育成とともに、地域のかかりつけ医への診療支援や糖尿病発生前の予防等に対応するための体制整備について、第2期中期目標期間においてさらなる取り組みが必要。

9 医療安全・院内感染の防止

【期間中の主な取組】

- ・医療安全推進連絡会において、3センター合同での医療事故等の事例検討を実施し、法人全体として医療安全管理体制を強化した。
- ・ホームページに法人全体の医療事故件数を掲載し、情報公開を図った。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・医療安全管理の質の向上のため、各センターにおける医療安全管理に関する情報の共有、法人全体として医療安全管理体制の強化が必要
- ・第2期中期目標期間においても、3病院は、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全の確保及び院内感染防止のための対策を徹底することが必要。

10 新病院整備の推進

【期間中の主な取組】

- ・新総合医療センターの移転については、県と連携して準備を進め、平成29年12月に竣工し、平成30年5月1日に開院した。
- ・看護専門学校統合校の整備については、県と連携して準備を進め、平成28年12月に竣工し、平成29年4月に開校した。(学生数：1学年80名)

【主な評価指標の結果】

評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
新総合医療センターの整備	工事契約締結	工事着手	工事実施中	工事竣工	開院
新西和医療センターの整備等	検討に至らず	検討に至らず	検討に至らず	検討に至らず	令和元年度からあり方検討を開始することを決定
看護専門学校統合校の整備	基本設計完了	工事着手	工事竣工	開校	
3病院共通の電子カルテシステムの整備	基本構想検討	仕様の検討	検討に至らず	総合において単独整備	西和において単独整備

【今後の課題】

- ・他の医療機関との連携・役割分担など、将来に向けた西和医療センターのあり方の検討について、県と病院機構が連携して進めることが必要。
- ・総合では、旧病院の撤去・跡地の整備への対応が必要。

大項目	期間見込評定					
Ⅱ 県民の健康維持への貢献	Ⅳ 中期目標の達成状況が良好である (中項目5項目中、4項目をA評価、1項目をB評価としたことを勘案した。)					
	【参考：H26-30 各年度評定実績】	H26	H27	H28	H29	H30
		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ

中項目	取組項目	期間評定										
1 県内の医療機関との連携・協力体制の充実	(1) 地域医療支援病院としての機能強化 (2) 退院調整会議の充実 (3) 地域包括支援センターとの連携強化 【参考：H26-30 各年度評定実績】	A										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
2 県内の医療レベル向上に向けた支援	(1) 医療専門職教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施 (2) 県内の医療機関への施設・設備の開放 【参考：H26-30 各年度評定実績】	A										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
3 災害医療体制の強化	(1) 災害対応体制の充実 (2) 人材の育成 (3) 災害発生時における県との円滑な連携 (4) 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築 【参考：H26-30 各年度評定実績】	A										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
4 県民への医療・健康情報の提供	(1) 臨床指標を含む情報の公開・発信 (2) 広報担当者の配置 (3) 公開講座の実施 【参考：H26-30 各年度評定実績】	A										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								
5 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	(1) 平松周辺地域でのまちづくりへの参画 (2) 西和地域でのまちづくりへの参画 【参考：H26-30 各年度評定実績】	B										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	B	B	B	B	B	
H26	H27	H28	H29	H30								
B	B	B	B	B								

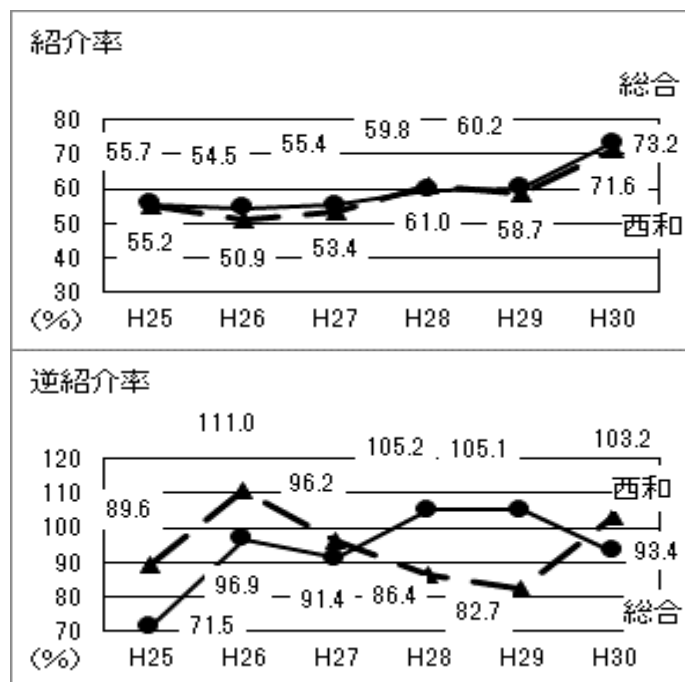
○中項目別の第1期中期目標期間の取組状況等は、以下のとおり。(下線は、見込評価からの追記、変更箇所)

1 県内の医療機関との連携・協力体制の充実

【期間中の主な取組】

- ・各センターにおいて退院調整会議を積極的に実施した。また、総合では退院支援カンファレンスの回数を増加、西和では患者支援センター在宅療養支援室を新設(H29.11月～)、リハでは地域の開業医へ訪問するなど、地域の医療機関との連携強化に取り組んだ。
- ・地域包括支援センターとの連携強化のため、総合では地域包括支援センター圏域ごとの多職種連携会コアメンバーに加入し、研修会等に参加した。西和では西和メディケア・フォーラムの設立や地域事例検討会の開催、在宅療養支援室の設置を行った。また、リハでは田原本町地域包括支援センター主催の合同研修会に参加した。
- ・総合では、奈良市地域医療連携室連絡協議会に参画し、地域医療連携室間での情報共有シートの作成などに取り組んだ。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・患者にとって最適な医療を提供するため、地域との医療連携会議等を積極的に開催するなど、他の医療機関との役割分担と連携強化が必要
- ・総合は北和地域、西和は西和地域における医療拠点として、奈良県地域医療構想に基づいて他の医療機関との役割分担・連携強化を進めることが必要。

2 県内の医療レベル向上に向けた支援

【期間中の主な取組】

- ・教育研修センターでは、県内医療専門職向けの講演会等を実施したほか、各センターにおいて、県内医療従事者向け研修会を実施した。
- ・総合・西和では、地域の医療機関との治療施設や医療機器等の共同利用を実施した。
- ・総合では、特定行為実習協力機関として登録し、看護実習生の受入を行った。

【主な評価指標の結果】

評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
県内の医療機関の医療従事者の短期・長期研修受け入れ	検討中	実施	実施	実施	実施

【今後の課題】

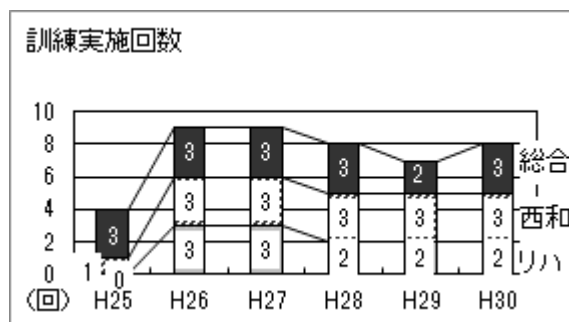
- ・研修セは、地域の医療従事者の資質向上のための取組を充実し、総合・西和・リハにおいても地域の医療従事者との連携や支援の取組を充実することが必要。また、看専は卒業生の県内就業を促進することが必要。

3 災害医療体制の強化

【期間中の主な取組】

- ・災害訓練を継続実施し、災害対応力の向上を図った。
- ・総合・西和では、DMA T隊を設置し、隊員養成のために県の実施する災害訓練や各種研修会、会議等に積極的に参加し連携を深めた。
- ・総合では、奈良県ドクターヘリの運用開始（H29年3月～）に併せ、その受入体制を整備した。
- ・リハでは、社会福祉事業団と共催で防災ワーキングチームを立ち上げ、災害マニュアルの見直し等を実施した。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

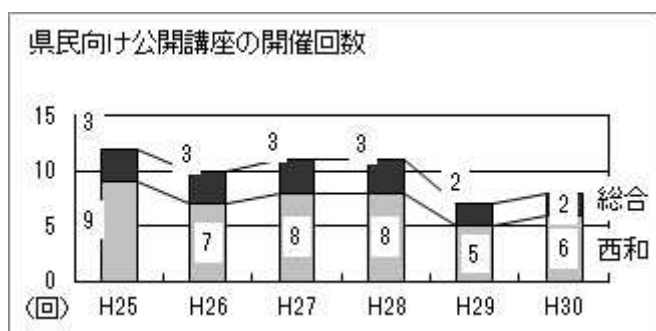
- ・総合は北和地域における地域災害拠点病院として、また、西和・リハにおいても各地域の地域災害拠点病院等と連携して、災害発生時に迅速・的確に対応できるよう、それぞれ災害医療体制を強化することが必要。

4 県民への医療・健康情報の提供

【期間中の主な取組】

- ・各センターのホームページにおいて、臨床指標（クリニカルインディケーター）を公開するとともに、各センターによる独自情報の発信に努めた。
- ・各センターにおいて、広報担当者を設置し、広報誌、デジタルサイネージ、ホームページ等を活用して広報・情報発信を行った。
- ・県民向け公開講座を毎年度実施した。
- ・総合では、医療の質の標準化、透明化のため、ISO9001の取得に取り組んだ。
- ・リハでは、病院機能評価を取得し、ホームページ等での公表や点検及び見直しを継続して実施した。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・第2期中期目標期間においても、3病院の医療内容や県民の健康の保持増進に資する情報などを、県民に積極的に発信することが必要。
- また、3病院の医療機能を積極的に広報するとともに、経営状況や臨床指標など法人運営の状況のさらなる「見える化」を推進することが必要。

5 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援

【期間中の主な取組】

- ・総合では、平松地区の地域包括支援センターの多職種連携会コアメンバーに加入し、研修会等に参加。また、西和では、西和メディケア・フォーラムの設立や地域事例検討会の開催、在宅療養支援室の設置・運用により、それぞれ地域との連携強化を図った。

【主な評価指標の結果】

評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
平松周辺地域、西和地域でのまちづくりへの参画	<ul style="list-style-type: none"> ・(西和) 西和メディケア・フォーラムの設立、各市町村地域会議の開催 ・マイ健康カードの導入は、具体的検討に至らず 	<ul style="list-style-type: none"> ・(西和) 西和メディケア・フォーラム地域事例検討会の開催 ・マイ健康カードの導入は、具体的検討に至らず 	<ul style="list-style-type: none"> ・(総合) 平松地区における地域包括支援センターの多職種連携会コアメンバー会議に参加 ・(西和) 西和メディケア・フォーラム地域事例検討会の開催 ・マイ健康カードの導入は、具体的検討に至らず 	<ul style="list-style-type: none"> ・(総合) 平松地区における地域包括支援センターの多職種連携会コアメンバーに参加 ・(西和) 西和メディケア・フォーラムでの地域事例検討会の開催、在宅療養支援室の設置・運用 ・マイ健康カードの導入は、具体的検討に至らず 	<ul style="list-style-type: none"> ・(総合) 平松地区における地域包括支援センターの多職種連携会コアメンバーに参加 ・(西和) 西和メディケア・フォーラムでの地域事例検討会の開催、在宅療養支援室の設置・運用 ・マイ健康カードの導入は、具体的検討に至らず

【今後の課題】

- ・県が実施するマイ健康カードの進捗状況に応じた法人の役割の検討や平松周辺地域における旧奈良県総合医療センター跡地活用について、県と連携して取り組むことが必要。

大項目	期間見込評定										
Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成	Ⅱ 中期目標の達成状況がやや不十分である (中項目2項目中、1項目をA評価、1項目をB評価としたことを勧案した。)										
	【参考：H26-29 各年度評定実績】 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>Ⅳ</td> <td>Ⅳ</td> <td>Ⅳ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ
H26	H27	H28	H29	H30							
Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ							

中項目	取組項目	期間評定										
1 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成	(1) ホスピタリティマインド醸成研修の実施 (2) ワークライフバランスの実現 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	B	B	B
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	B	B								
2 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成	(1) 医療専門職教育研修センターの設置と充実 (2) 看護専門学校の教育内容、教育体制の充実 【参考：H26-30各年度評定実績】 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	A								

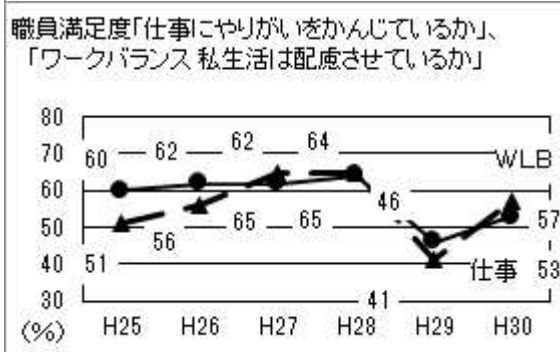
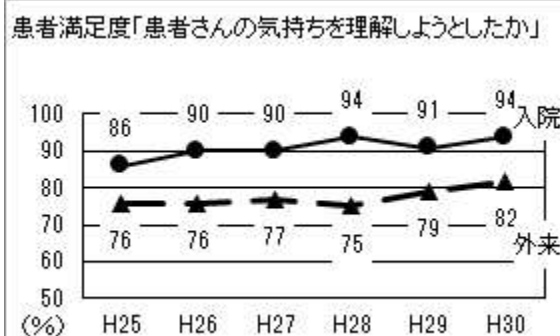
○中項目別の第1期中期目標期間の取組状況等は、以下のとおり。(下線は、見込評価からの追記、変更箇所)

1 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成

【期間中の主な取組】

- ・病院におけるホスピタリティについて考える機会やコミュニケーションスキルの習得のための接遇研修を実施。
- ・新たな人事評価制度の運用を開始した。(H27年度～)
- ・法人全体として勤務環境の改善に向け、ワークライフバランス推進委員会を開催し、具体的な議論を行うとともに、3センター間で超過勤務の縮減、年休取得促進等に向けた取組の共有を行った。
- ・総合・西和では、週2回の夜間保育を実施した。また、総合では、新総合医療センターにおいて職員向けの病児保育の実施を開始した。
- ・西和では、西和5町の病児保育設置に向けた検討、協議を継続して行った。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

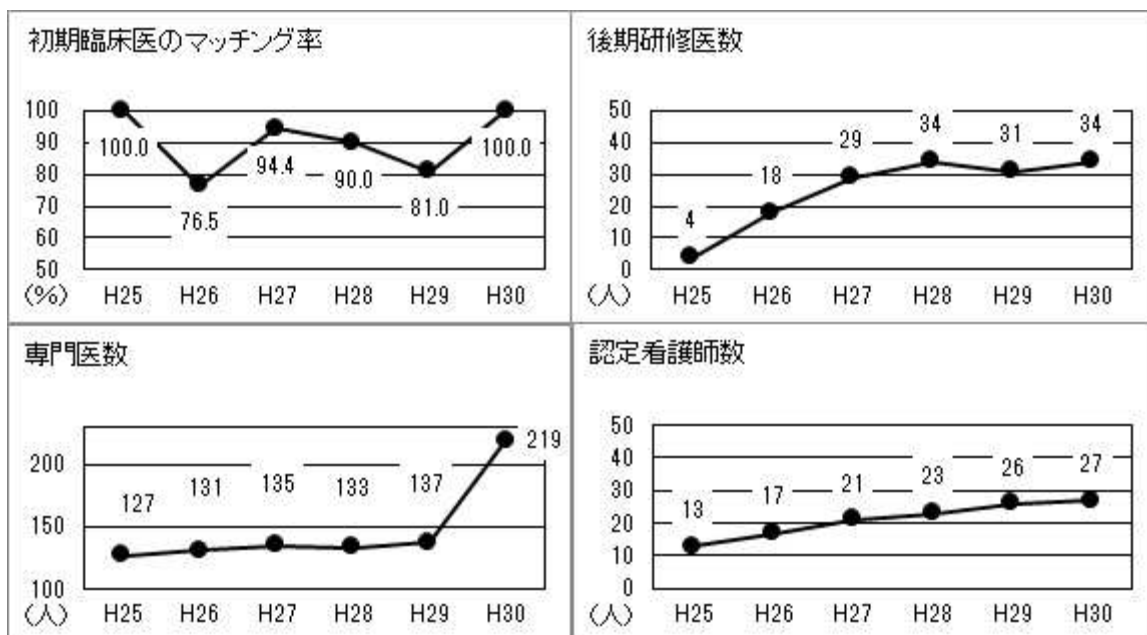
- ・患者の気持ちが理解できるホスピタリティマインドの醸成、職員一人ひとりが仕事にやりがいを持てる、ワークライフバランスにも配慮した働きやすい環境づくりの推進について、第2期中期目標期間においてさらなる取り組みが必要。

2 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成

【期間中の主な取組】

- ・総合では、新専門医制度の基幹施設としてH30年度プログラム申請を行った。
- ・西和では、NPO法人卒後臨床研修評価機構の認定を取得した。(H29年度)
- ・先駆的な取組を実施する病院に看護師を研修派遣するなど、職員のレベルアップを図った。
- ・総合では、新専門医制度の基幹施設として、産科・救急・小児・内科・麻酔領域について取得。外科は、H30申請。
- ・西和では、新専門医制度の基幹施設として、内科領域を取得。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・第2期中期目標期間についても、引き続き後期研修医、専門医、認定看護師等の人材確保・育成を進めるとともに、教育研修センターの一層の機能の充実、看護専門学校の内容や体制の充実及び積極的な広報活動による魅力ある学校づくりが必要

大項目	期間見込評価					
IV 自立した経営	III 中期目標の達成状況が概ね良好である (中項目2項目中、1項目をS評価、1項目をA評価、2項目をB評価としたことを勘案した。)					
	【参考：H26-29 各年度評価実績】	H26	H27	H28	H29	H30
		II	I	II	III	III

中項目	取組項目	期間評価										
1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	(1) 経営企画機能の強化 (2) 中期計画・年次計画の適正な実施 【参考：H26-30各年度評価実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	B	A	A	A	A
H26	H27	H28	H29	H30								
A	B	A	A	A								
2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	(1) 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立 (2) 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援 (3) 成功を認め、讃える組織文化の形成 【参考：H26-30各年度評価実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	B	B	B	B	B	B
H26	H27	H28	H29	H30								
B	B	B	B	B								
3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	(1) 経常収支比率を高い水準で維持 (2) 内部留保を確保 【参考：H26-30各年度評価実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C</td> <td>C</td> <td>A</td> <td>B</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	C	C	C	A	B	B
H26	H27	H28	H29	H30								
C	C	C	A	B								
4 奈良県立病院機構改革プランを着実に実行	(1) 民間的経営手法の導入 (2) 事業規模・事業形態の見直し (3) 経費削減・抑制対策の実施 (4) 収入増加・確保対策の実施 (5) 経営改善に関するその他の取組の実施 (6) 再編・ネットワーク化の検討 【参考：H26-30各年度評価実績】 <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>S</td> </tr> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	A	A	A	A	S	S
H26	H27	H28	H29	H30								
A	A	A	A	S								

○中項目別の第1期中期目標期間の取組状況等は、以下のとおり。(下線は、見込評価からの追記、変更箇所)

1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立

【期間中の主な取組】

- ・平成27年度から理事会に各センターの病院長が理事として就くこととし、現場の意見をより反映する体制を整備した。
- ・理事会、経営企画会議を毎月1回開催し、理事会等での決定事項を全職員に周知する体制づくりに取り組んだ。
- ・3病院合同での部門別連絡会議を各部門が主体的に開催するとともに、部門間での情報共有を図る体制づくりに取り組んだ。
 - ・各病院での経営体制の強化として、病院ごとの経営企画委員会を毎月開催。総合では、執行部会議を毎週、幹部会・部長会を毎月開催、西和では、院議を月2回、病院連絡会を毎月開催、リハでは、幹部会議を月2回、経営管理改善委員会を月1回開催し、それぞれ病院経営に係る重要事項の決定と情報共有・周知徹底に取り組んだ。

【主な評価指標の結果】

評価指標	H26	H27	H28	H29	H30
3病院合同での会議等の開催	12部門合同会議の実施	11部門合同会議の実施	11部門合同会議の実施	10部門合同会議の実施	10部門合同会議の実施

【今後の課題】

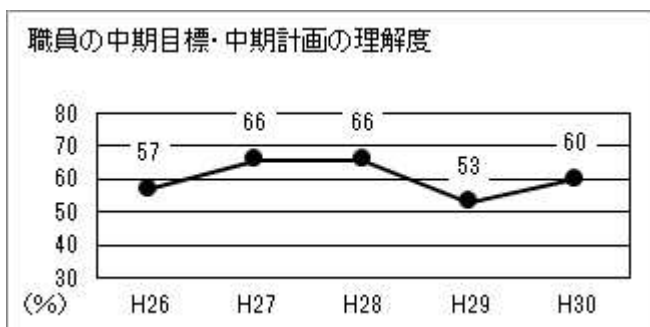
- ・引き続き理事長をはじめ役員等によるリーダーシップを発揮するとともに、法人の経営状況や運営方針、理事会等での決定事項等を全職員で情報共有できる体制の確立について、第2期中期目標期間においても引き続き取り組む必要。

2 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成

【期間中の主な取組】

- ・職員の経営参画意識向上の取組として、幹部合同研修と事務系職員経営管理セミナーを統合開催した。
- ・新たに機構ニュースレター（グリーンリーブス）を発行し、職員の経営参画意識向上に取り組んだ。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

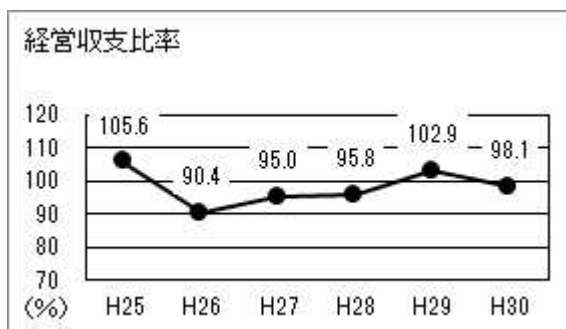
- ・第2期中期目標期間においても、職員の中期目標・中期計画に対する理解度を向上させ、職員の経営参画意識の向上を図ることが必要。
- ・持続可能で自立した法人経営を目指して経営感覚と改革意欲に富んだ人材を確保・育成することが必要。

3 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営

【期間中の主な取組】

- ・経営改善の取組として、各種経営資料の分析及び分析に基づいた経営管理の強化を図り、継続的にその取組を実施した。
- ・収益増の取組として、総合では運用病床を段階的に増加させるとともに、総合・西和では適切なベッドコントロールの継続実施により病床稼働率の向上を図った。また、リハでは、地域の病院・診療所訪問を実施し紹介患者の確保に取り組んだ。
- ・費用抑制の取組として、医薬品・診療材料等において3センターのSPD業者の統一や価格交渉等によりコスト削減に取り組んだ。
- ・未収金発生防止及び回収強化として、未収金に対する早期の督促及び専門業者への委託を実施した。

【主な評価指標の結果】



【今後の課題】

- ・奈良県立病院機構改革プランの着実な実行のため、ガバナンス強化と全職員の意識改革を進め、一層の収益確保と費用抑制を図って経営改善に取り組むことが必要。
- ・奈良県地域医療構想・奈良県医療費適正化計画との整合のもと、収益の確保と費用構造改革の徹底によって一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ることが必要。

4 奈良県立病院機構改革プランを着実に実行

【期間中の主な取組】

- ・ 経営改善の取組として、各種経営資料の分析及び分析に基づいた経営管理の強化を図り、継続的にその取組を実施した。
- ・ 収益増の取組として、総合では運用病床を段階的に増加させるとともに、総合・西和では適切なベッドコントロールの継続実施により病床稼働率の向上を図った。また、リハでは、地域の病院・診療所訪問を実施し紹介患者の確保に取り組んだ。
- ・ 費用抑制の取組として、診療部長以上の医師への業績評価を導入するなど、業績や成果に応じた給与制度へ変更（H29年度～）、医薬品・診療材料等において3センターのSPD業者の統一や価格交渉等によりコスト削減に取り組んだ。

【今後の課題】

- ・ 奈良県立病院機構改革プランの着実な実行のため、ガバナンス強化と全職員の意識改革を進め、一層の収益確保と費用抑制を図って経営改善に取り組むことが必要
- ・ 奈良県地域医療構想・奈良県医療費適正化計画との整合のもと、収益の確保と費用構造改革の徹底によって一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ることが必要。